

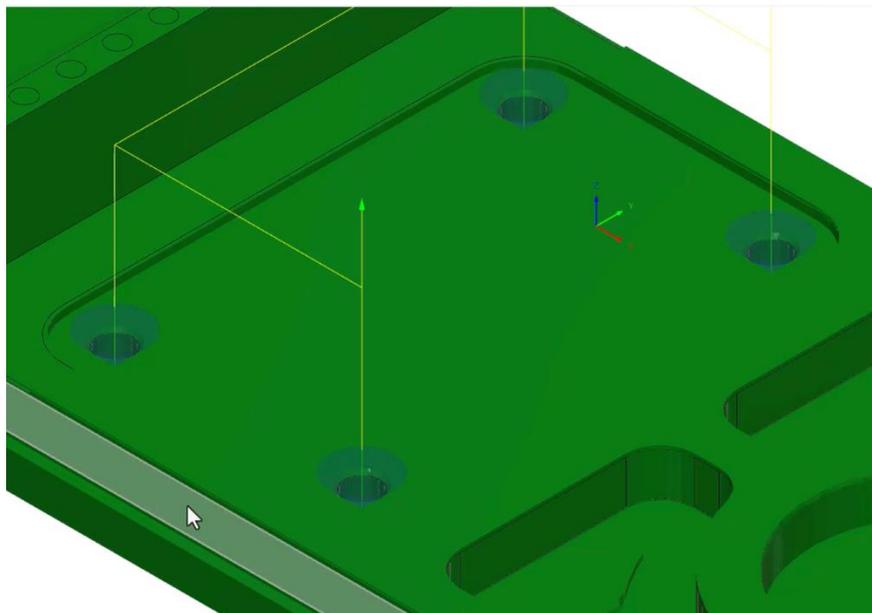
## ステップバイステップ ガイド

### 単純なドリル穴ツールパスを使用

ドリル加工は、ワークピースに穴を作成する場合に一般的な機械加工タスクです。穴あけツールパスは、穴の作成に使用する機能を提供し、穴のスマート選択とドリル深さの調整を可能にします。基本的なドリル操作を使用して単純な穴を作成し、ドリルの高さを変更します。

#### 学習の目的:

- 標準のドリル穴操作を実行します。
- 下穴の操作を容易にするために、ドリル高さを変更します。



完成図

## 1. Phone Stand Base M4.f3d

ファイルを開きます。

[ミル]タブのツールバーで、  
[ドリル] > [ドリル]をクリックします。



図 1. ドリル工具が選択されました。

## 2. 穴の作成に使用するドリルビットを選択します。この例では、タッピングの下穴直径に

5 mm のドリルを使用します。穴のサイズは小さいですが、タッピングに後から加工する材料を追加するのに十分な材料が残っています。

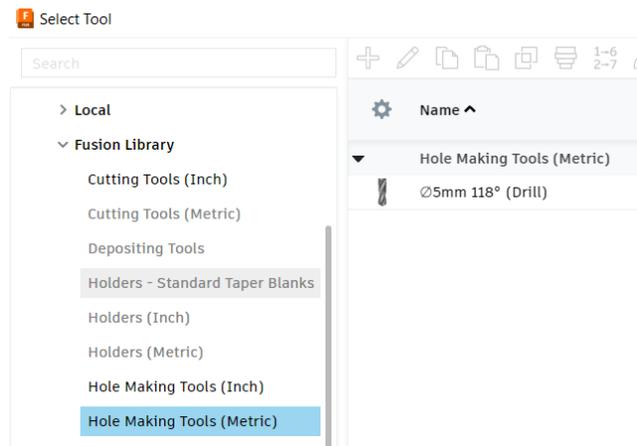


図 2. [工具選択]ダイアログで工具を選択します。

## 3. 作成する穴の面を選択し

ます。

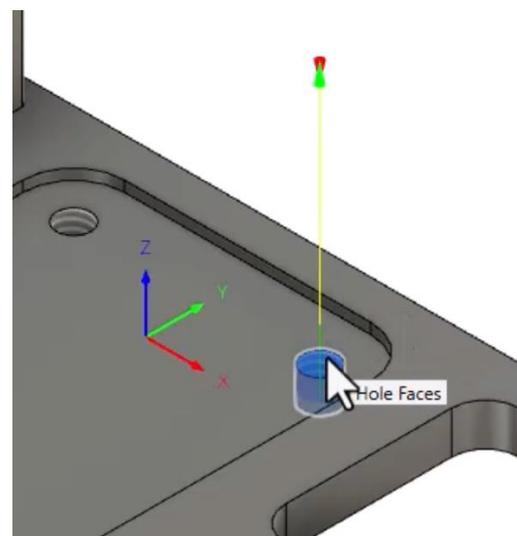


図 3. 穴の面を選択します

4. 同じ直径の複数の穴をドリル加工する場合は、[同じ直径を選択]チェックボックスをオンにします。

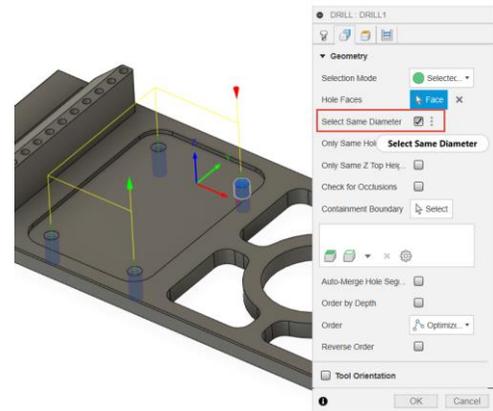


図 4. [ジオメトリ]タブで同一直径を選択します。

5. 穴のジオメトリを選択したら、[高さ]タブのオプションを確認して、穴あけ操作が正しい深さに実行されることを確認します。選択とオフセットフィーチャを使用して、ドリル加工パラメータを調整できます。この例では、穴の深さを -6.35 にオフセットし、[ドリル先端貫通]チェックボックスをオンにして、ドリルビットがパーツの背面から完全に出るようにします。これにより、後でこれらの穴をねじ切りするときにより簡単に時間を節約できます。

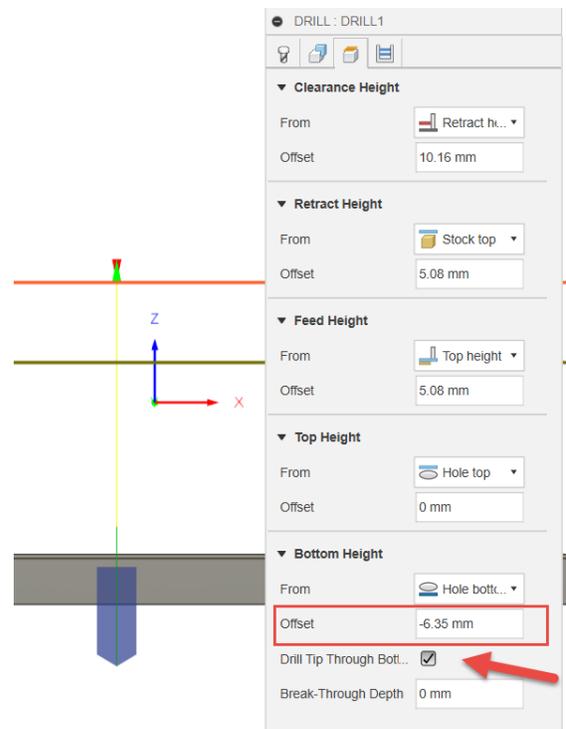


図 5. [ドリル高さ]タブ

6. [ミル]タブのツールバーで、  
[アクション > [マシンを使用してシミュレート]をクリック  
します。

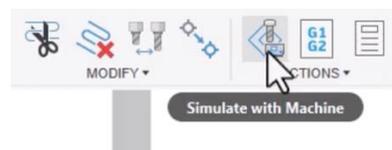


図 6. [マシンを使用してシミュレート]を選択

7. ツールパス シミュレーション  
を表示します。

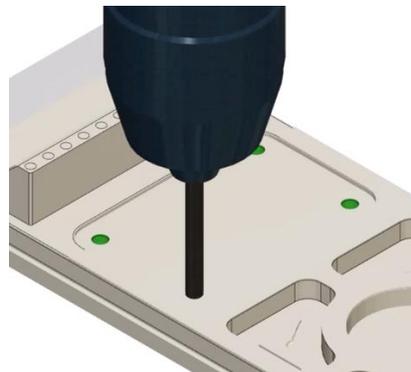


図 7. ツールパス シミュレーション

8. 高速穴あけを使用していて、  
スポット ドリルを使用して穴  
を下穴処理する必要がある場  
合、プロセスは類似していま  
す。別の穴あけツールパス工  
程を作成し、必要に応じてス  
ポット ドリル工程を使用す  
ることができます。

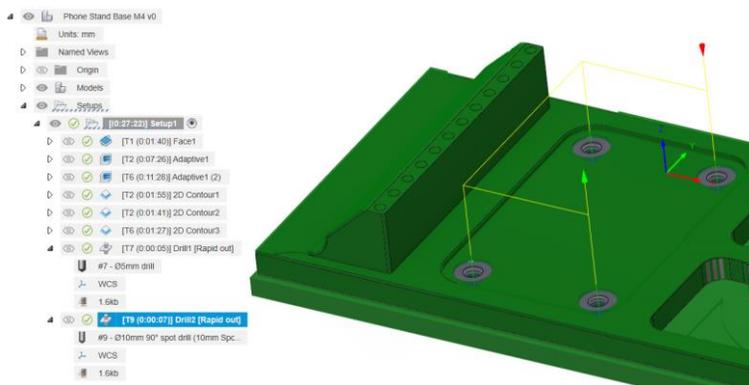


図 8. スポット ドリルの使用も同様のプロセスです。

9. [高さ]タブで、[ボトム高さ]オプションを[面取り幅]に設定して、スポットドリルの深さを単純なスポットドリル操作に適したレベルに設定します。

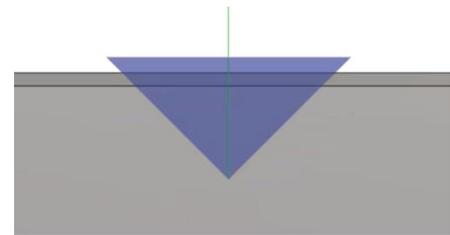
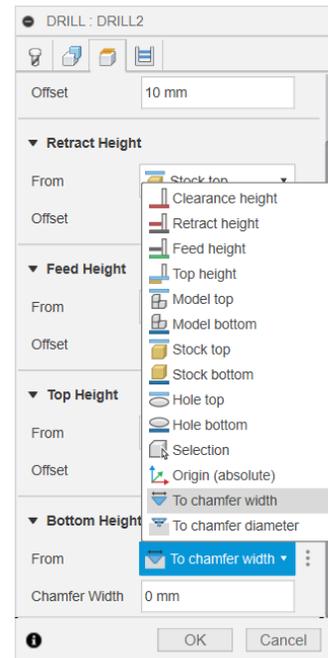


図 9. [ボトム高さ]を[面取り幅]に設定します。

10. [高さ]タブで、[ボトム高さ]のオフセットを 0.1 mm に設定します。ファイルを保存します。

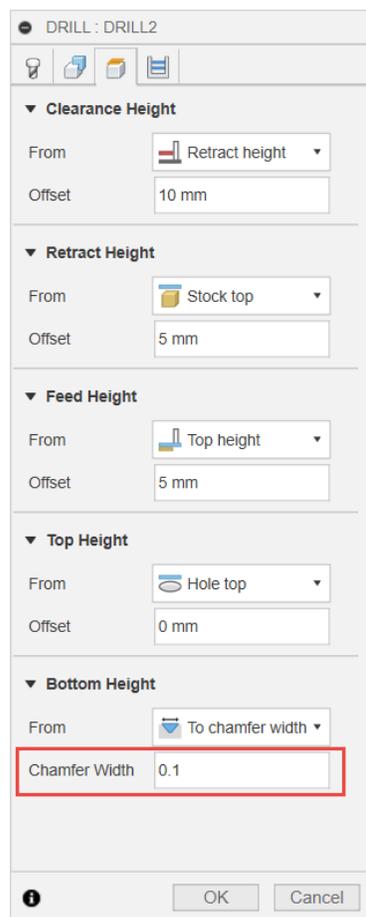


図 10. 面取り幅の[ボトム高さ]を変更します。